

柳津町小中学校ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、対象学校数に占める割合（％）

対象校3校でネットワーク速度の調査を実施したところ、学校規模ごとの当面の推奨帯域（文部科学省・令和6年4月）を満たす学校は1校であるが、残り2校はネットワーク課題把握のフローチャートにて、校内NWの入口の帯域が当面の推奨帯域を満たし、かつユーザー体感調査で課題がない状況のため、必要なネットワーク速度が確保できている学校数は実質100%となっている。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

上記2校についても課題なしの状況のため、現時点では改修予定はないが、フローチャートにもある今後の対応として、定期的な確認は行っていく。

なお、端末整備・更新計画にも記載しているが、令和6年度から10年度までで、約20%の児童生徒数が減少する見込みである。同時接続の端末も年々少なくなることから、一人当たりの通信速度はより上昇していくことが予想される。

ただし、今後のICT教育の変化に伴い、一人当たりの通信負荷が増えることや、機器の老朽化や規格が古くなるに伴い、ボトルネックとなるような状況になりそうな場合は、現在は地方で未対応エリアの多い、10Gbpsベストエフォートなどの次世代サービスへの変更や新たな無線規格に対応した機器への交換により、対応を図っていく。